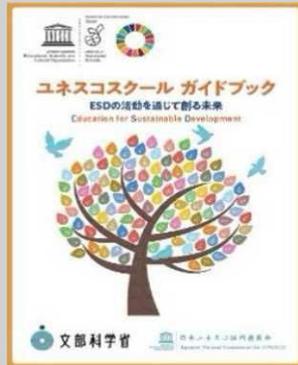


Reflection

26 Oct 2024 ※ online

1. 日本のユネスコ・スクール (ASPnet) について理解を深めた。SDGs 2030アジェンダに呼応し、ESDを促進する枠組みだ。ユネスコスクールガイドブックとウェブサイト参考にした。



2. 「あたらしい学びとは何か？」を考えるきっかけになった。

5-11 Nov 2024 ※ at Hiroshima

1. 「あたらしい学び」には、変化し続ける状況に適応する能力、すなわち自己回復力が必要だ。それはいつの時代にも教師に求められる資質である。教員は生徒たちの進化するニーズに応じて、教授法を常に変えていかなければならない。
2. 2030年までにSDGsを達成するために必要な能力を生徒に提供するESDの授業例を見学しました。これらの能力は、生徒自身の生活や地域コミュニティにつながりを持つ活動を通じて育まれます。例えば、生徒たちは協力して、ヘチマの実がなるまで育て続けます。実った果実は教室に置かれ、生徒たちは誇りと達成感を感じることができます。

教室にあったヘチマ



@Zaō Shōgakkō
class 4-1's HECHIMA
2024/11/07

アクションプラン

11 SUSTAINABLE CITIES
AND COMMUNITIES



名称	学校のマイグリーンフレンズ プロジェクト 
対象	ブリーラムピッタヤーコム高校の3分の2である、生徒15名
目的	生徒たちが学校に生えている木を観察し、その恩恵を知れるようにする (Rediscovering and connecting with surrounding trees) ※ SDGs 11.4
活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の樹木を観察し、名前と特徴を調べる 2. そこから1種類の木を選び、絵を描き、学級で発表する
評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木の名前と恩恵を発表し、なぜその木を選んだかも説明する 2. 描いた絵と関連知識を1分間で共有する
期間	<p>2025/01/15-30: 学校の木について調べて、絵を描く</p> <p>2025//02/1-15: 木の絵と調べたことを学級で発表する</p>